

〔科目名〕 科学への探求	〔単位数〕 2単位	〔科目区分〕 専門科目
〔担当者〕 三浦英樹	〔オフィス・アワー〕 時間: 講義後または適宜(事前のメール連絡で時間調整します) 場所: 研究室(大学院棟 1203 室)	〔授業の方法〕 講義と演習
〔科目の概要〕 地域みらい学科で卒業論文をまとめるまでには、多くの授業科目を受講し、様々なフィールドワークを経験します。本講義では、地域みらい学科の「知の冒険計画」(興奮の過程・科学の過程・創造の過程)を意識しながら、これらの過程で必要となる、科学(自然科学、社会科学、人文学)の手続きや思考法の基礎を、実践的な演習を取り入れながら習得することを目的とします。具体的な内容として、① 研究課題の設定方法、② データと情報の収集方法、③ データと情報の整理・分析方法、④ 結果のまとめ方と表現方法、を取り上げ、自己の学びや経験を、有機的・学際的に結びつけて、分野横断的に地域社会の課題解決に向けて活用・展開できる能力の習得を目指します。進行状況に応じて、シラバスの内容は柔軟に変更する場合があります。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつかか〕 現代社会には、様々な地球規模の課題、地域の課題が山積しています。これらの課題に対して、主体的に関わること、意味のあるプロジェクトに取り組むこと、具体的な解決策を考えることが求められています。地域みらい学科では、地域を対象としたフィールドワークを行い、そこで得られたデータや経験に基づき、地域の課題に対して新しいアイデアや企画を生み出し、最終的に卒業研究に結びつけていくことが求められます。そのためには、科学的かつ論理的にデータ収集やフィールドワークを実行して、現場で見たこと、聞いたことから、自ら問いを立て、それらを様々な科目で学んだ内容と有機的に結びつけて展開させていく必要があります。この講義では、研究の基本的な流れを学ぶことによって、ひとつの学問分野だけでは収束しないことが多い、地域みらい学科の卒業研究に向けた準備と心構えを身につけることができます。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 ① 研究課題の設定方法、データと情報の収集方法、データと情報の整理・分析方法、結果のまとめ方と表現方法の概要について理解すること ② 演習によって上記の方法を具体的に活用できる能力を身につけること		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 新規担当のため、なし。		
〔教科書〕 なし。各回で、必要に応じ、資料を配付します。		
〔指定図書〕 なし。		
〔参考書〕 追手門学院大学成熟社会研究所編(2020)『一人で思う、二人で語る、みんなで考える 実践! ロジコメ・メソッド』岩波ジュニア新書。 名古屋隆彦(2020)『質問する、問い返すー主体的に学ぶということ』岩波ジュニア新書。 沼崎一郎(2019)『初めての研究レポート作成術』岩波ジュニア新書。 木下是雄(1981)『理科系の作文技術』中公新書。 小熊英二(2022)『基礎からわかる論文の書き方』講談社現代新書。 梅棹忠夫(1969)『知的生産の技術』岩波新書。 本多勝一(1983)『ルポルタージュの方法』朝日文庫。 鎌田 慧(1992)『ルポルタージュを書く』岩波同時代ライブラリー。 宮本常一(1993)『民俗学への旅』講談社学術文庫。 日浦 勇(1975)『自然観察入門 草木虫魚とのつきあい』中公新書。 梶丸 岳・丹羽 朋子・椎野 若菜(編)(2016)『フィールドノート古今東西』古今書院。 清水 展・飯嶋秀治(2020)『自前の思想 時代と社会に応答するフィールドワーク』京都大学学術出版会。 竹川大介(2017)『野研! 大学が野に出た フィールドワーク教育と大學堂』九州大学出版会。 川喜田二郎(2017)『発想法 改版』中公新書。 枝廣淳子・内藤 耕(2007)『入門! システム思考』講談社現代新書。		

山下佑介 (2020) 『地域学をはじめよう』岩波ジュニア新書。 瀧澤美奈子 (2009) 『地球温暖化後の社会』文春新書。	
〔前提科目〕 なし	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) ① 講義の時間では、「リアクションペーパー」の時間を設けて、その場で提出してもらいます。都度、指示に従って、講義を受けて感じたこと、自分が考えたこと、講義内容への質問や意見などを自由に記述してください。おもしろい重要な意見・質問は、できるだけ、次の講義の冒頭で紹介・回答します。 ② 演習の時間では、個人またはグループ(6人程度のチーム編成)で行い、最終結果を図や文章として作成、提出あるいは発表します。 ③ 「最終レポート」の課題は、指示する課題に対して記述してください。一般論や他人の借り物の考えではなく、自分の中にある問題意識と照らし合わせて、自分自身の深い考えや自分が思うところ、感じたことを記述することが大切です。	
〔評価の基準及びスケール〕 ① 「リアクションペーパー」では、感じたこと、自分が考えたこと、講義内容への質問や意見など、記述内容から、総合的に評価します。 ② グループとして行った演習の結果は、最終的にグループまたは個人で図や文章としてまとめて提出して、作業が十分に理解されて実行されていることを総合的に評価します。 ③ 「最終レポート」は、課題の要件を満たしていること、他人が理解できる文章を書いていること、自分の中にある問題意識や考えを自分なりの言葉で表現していること、を基準として評価します。 ④ 総合的な評価は、「リアクションペーパー」の評価35%、「演習の取り組み」への評価35%、「最終レポート」の評価30%の比率で、すべてを合算して、合計100点満点(A:80点以上、B:70～79点、C:60～60点、D:50～59点、E:50点以下)で評価します。	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 深刻な地球環境問題、情報化やグローバル化が進展する時代の過渡期にある現代社会では、予測が不可能なことが多く、昨日まで正しかったことが、急に正しくなくなるなど、難しい判断が必要な時代になっています。このような環境では、自ら課題を発見し、答えを求める能力が必要不可欠になってきます。しかし、周囲の様々な課題に対して、どのように考え、どう判断すべきか、新しい科学や思想を生みしていくのは、簡単なことではありません。実際に、社会に出ると、ゆっくり考えている時間はさらに少なくなり、家庭や職場で、日々の現実の生活が続き、押し流されていくのが普通です。大学でじっくり考えることができる時間と機会、経験は、このあとの長い人生でも貴重な財産になるはずです。一緒に議論し、試行錯誤しながら、私も考えていきたいと思います。	
〔実務経歴〕 該当なし。	
授業スケジュール	
第1回	テーマ(何を学ぶか): 「科学への探求」の講義・演習の目的 内 容: 地域みらい学科のホームページの内容確認。「地域みらい学科」の存在意義と「科学への探求」の目的。 教科書・指定図書: なし
第2回	テーマ(何を学ぶか): ① 研究課題の設定方法: (1) 地球規模の課題、地域の課題と研究の進め方 内 容: 地球規模の課題と地域の課題の概要。研究の進め方の概要。 教科書・指定図書: なし
第3回	テーマ(何を学ぶか): ① 研究課題の設定方法: (2) 発想の方法と思考方法のツール 内 容: 様々な発想の方法と思考方法のツールの紹介と具体例。 教科書・指定図書: なし
第4回	テーマ(何を学ぶか): ① 研究課題の設定方法: (3) 課題の設定と具体化、仮説の設定・分析・検証、先行研究の調査と課題の修正・変更 内 容: 具体的な課題の設定方法の過程の説明と具体例。 教科書・指定図書: なし
第5回	テーマ(何を学ぶか): ① 研究課題の設定方法: (4) 演習 内 容: 学んだ「研究課題の設定方法」を活用した演習。 教科書・指定図書: なし

第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): ② データと情報の収集方法: (1) 情報収集の方法と整理法</p> <p>内 容: 情報収集の準備と方法、得られたデータ・情報の整理方法の紹介と具体例。</p> <p>教科書・指定図書: なし</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): ② データと情報の収集方法: (2) 情報源としての図書館、インターネット、統計資料の活用</p> <p>内 容: 図書館、インターネット、統計資料の活用方法の紹介と具体例。</p> <p>教科書・指定図書: なし</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか): ② データと情報の収集方法: (3) 情報としての体験活動、実験と観察、インタビュー、アンケート調査</p> <p>内 容: 体験活動、実験と観察、インタビュー、アンケート調査の方法の紹介と具体例。</p> <p>教科書・指定図書: なし</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか): ② データと情報の収集方法: (4) 演習</p> <p>内 容: 学んだ「データと情報の収集方法」を活用した演習。</p> <p>教科書・指定図書: なし</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか): ③ データと情報の整理・分析方法: (1) 図表と思考ツールによる整理の方法</p> <p>内 容: 収集した情報やデータを図表や思考ツールを使用して整理する方法の紹介と具体例。</p> <p>教科書・指定図書: なし</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか): ③ データと情報の整理・分析方法: (2) 分析方法としての統計データの作成</p> <p>内 容: 収集したデータを表計算ソフトなどを使用して、グラフや表の形にまとめる方法と具体例。</p> <p>教科書・指定図書: なし</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか): ③ データと情報の整理・分析方法: (3) 演習</p> <p>内 容: 学んだ「データと情報の整理・分析方法」を活用した演習。</p> <p>教科書・指定図書: なし</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか): ④ 結果のまとめ方と表現方法: (1) レポート、論文の構成と書き方</p> <p>内 容: レポートと論文の構成と書き方、引用文献の書き方の紹介と具体例。</p> <p>教科書・指定図書: なし</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか): ④ 結果のまとめ方と表現方法: (2) プレゼンテーションの方法</p> <p>内 容: スライドとポスターによる発表資料の作成方法の紹介と具体例。</p> <p>教科書・指定図書: なし</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか): ④ 結果のまとめ方と表現方法: (3) 演習</p> <p>内 容: 学んだ「結果のまとめ方と表現方法」を活用した演習。</p> <p>教科書・指定図書: なし</p>